

学年	中学2年	教科	英語	科目	英語	単位数	6
教科書名	Blue Sky 2（啓林館）			副教材名	・NEW TREASURE STAGE 1 ・NEW TREASURE STAGE 2 ・NEW TREASURE 文法問題集 STAGE 1 ・NEW TREASURE 文法問題集 STAGE 2 ・NEW TREASURE 英単語 STAGE 1 ・NEW TREASURE 英単語 STAGE 2 ※上記はすべて Z 会出版 ・ENGLISH SEARCH グラマートレーニングⅠ ・ENGLISH SEARCH グラマートレーニングⅡ ※上記はすべて教育開発出版		
コース・クラス	中高一貫						

I. 目標

- ・英語を通して、相手の言うことを理解し、自分の考えなどを伝えられるようにするために、その土台となる語彙と英文法の基礎を固める。
- ・英語はコミュニケーションのツールであることを理解し、積極的に使ってみようとする態度を育てる。

II. 授業のねらい

- ・英検3級レベルのスキルの獲得を目標とする。

Listening, Speaking の面では、ALT と連携を図り、JTE の授業で学んだ英文法を使ったアクティビティーを行い、英語で日常的な会話をするなど、英語体験を楽しめるようにする。

Reading, Writing の面では、特に副教材を活用し、海外と自国の文化に興味を持たせるとともに、英語を正しく理解し、英語で表現するための語彙と文法の基礎固めを目指す。

III. 授業の進め方

- ・各セクション Grammar in Use の Key Point から取組み、文法の解説、問題演習を行う。(プリントまたはノートを使用)
その後、本文 (Scene) を読み、習った英文法がどのように使われているのかを中心に解説を行う。(プリントまたはノートに要点を記入する) また、音読活動を積極的に取り入れ、学習内容の定着を図る。
学習内容を定着させるため、文法問題集や kahoot を活用し、問題演習を行う。
- ・各自、以下の2冊のノートを用意する。

①授業用ノート

- ・一番上に Lesson のタイトルを記入する。
- ・Key Point の要点をまとめる。(プリントの場合は貼る)
- ・本文をノートに書き (またはプリントを貼り)、本文の解説と新出単語を文中に書き込み、まとめる。(その他、板書事項や授業でのポイントがあればあわせてまとめる)
- ・各セクション見開き1ページにまとめることを推奨する。

②文法問題集ノート

- ・復習として副教材の問題集に取り組む。
- ・繰り返し解くことにより、学習内容の定着を図る。
- ・単語テストを Weekly test として定期的実施する。

テストは週 2 回ほど実施し、「事前課題を配布→テスト実施→学習支援センターと連携し、1 週間以内に再試を受けるよう促す」のサイクルでまわす。

- ・「読む・書く・聞く・話す」の 4 技能をバランスよく学習する。
- ・NEW TREASURE ENGLISH SERIES の活用について

① Grammar in Use

- ・【本文 (Scene)】は主にそのセクションで学習する文法事項を用いた英文を含め、日常を想定した場面での表現を広げる題材として扱い、文法事項の定着を図る。
- ・【Key Point】は例文を通して文法事項を学習、理解する目的で扱う。
- ・【Use & Check】は実践的な会話等のアクティビティーを通して、そのセクションで学習した文法事項の練習と定着の目的で扱う。

② Read

- ・主に読解力と、様々な文化や社会問題に対する興味・関心を育てる教材として扱う。

③その他

- ・【Pronunciation】は発音習得の目的で扱う。
- ・【Action】はプレゼンテーション等を実施する際の題材として扱う。
- ・【Word Square】は各テーマに即して語彙力を広げる目的で学習する。

上記の内容は授業の進度に合わせて適宜扱う。

- ・上記以外の補助教材について

ENGLISH SEARCH グラマートレーニングⅠ・Ⅱ, NEW TREASURE 文法問題集 STAGE 1・2, NEW TREASURE 英単語 STAGE 1・2 は補助教材として家庭学習、また weekly test, 各講習にて活用する。

IV. 学習上の留意点

- ・授業で学習したことをそのままにせず、家庭学習をして復習すること。
- ・学習したことのポイントを確認するだけでなく、文法問題集やグラマートレーニングを使い、問題演習を意識して行うこと。
- ・提出物の期限は必ず守ること。
- ・Weekly test は満点を目指し、事前準備を意識すること。
- ・各試験返却後は、間違えた問題を確認し解き直すだけでなく、「なぜその答えが正解なのか」を常に考えながら、自分なりに解説を書き込む習慣をつける。

V. 定期試験

- 1 学期 中間試験 : NEW TREASURE STAGE 1 Lesson 11~12 (Weekly test の範囲, 既習英文法を用いた応用問題を含む)
 ※昨年度取り組みなかった範囲があれば, その範囲も含む
- 1 学期 期末試験 : NEW TREASURE STAGE 2 Lesson 1~2 (Weekly test の範囲, 既習英文法を用いた応用問題を含む)
- 2 学期 中間試験 : NEW TREASURE STAGE 2 Lesson 3~4 (Weekly test の範囲, 既習英文法を用いた応用問題を含む)
- 2 学期 期末試験 : NEW TREASURE STAGE 2 Lesson 5~6 (Weekly test の範囲, 既習英文法を用いた応用問題を含む)
- 3 学期 学年末 : NEW TREASURE STAGE 2 Lesson 7~8 (Weekly test の範囲, 既習英文法を用いた応用問題を含む)

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト (Weekly test など)、提出物状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	〈NEW TREASURE STAGE 1〉 (昨年度取り組み切れなかった範囲があればそこからスタート) Lesson 11 There is [are]～の文	・定期試験 ・単語テスト ・提出物 ・授業態度 (アクティビティを含む)	・身の回りにあるものについて、どこに何があるか、どのくらいの数量があるか説明することができる。 ・There is[are] ～の文を作ることができる。 ・many[much], few[little]や容器や単位を表す語を使って数・量を表す文を作ることができる。 ・物事を比較して説明できる。 ・形容詞・副詞の原級, 比較級, 最上級を使った比較の文を作ることができる。 ・疑問詞を使った比較の疑問文を作ることができる。 ・等位接続詞を使って文をつなげることができる。 ・時を表す従位接続詞を使って副詞節を作ることができる。 - What と How を用いて驚きやうれしさなどの感情を表現することができる。 ・条件・理由・譲歩を表す従位接続詞を使って副詞節を作ることができる。 ・動詞の目的語になる that 節を用いた文を作ることができる。 ・助動詞を用いて【申し出】【提案】【依頼】【勧誘】が表現できる。
	5	There is [are]～ 否定文・疑問文 数や量の多少を表す表現 Lesson 12 比較 原級を用いた比較の文 比較級を用いた比較の文 最上級を用いた比較の文 疑問詞を用いた比較の文		
	6	〈NEW TREASURE STAGE 2〉 Lesson 1 疑問詞① 感嘆文		
	7	等位接続詞 命令文, and/or～ 時を表す疑問詞/感嘆文 Lesson 2 接続詞② 助動詞表現 条件・理由・譲歩を表す接続詞 接続詞 that Shall I[we]～?/Will you～?/have to ※その他, 週に 1 回をベースに, オンライン英会話, ALT による授業を実施する。		

一学期	9	〈NEW TREASURE STAGE 2〉 Lesson 3 文型	・定期試験 ・単語テスト	・5つの文型が理解できる。 ・SV00 や SV0 +to[for] ～を使った文を作ることができる。
	10	文型 (5 文型) 〈SV0(もの)+to/for+0(人)〉の文	・提出物 ・授業態度	・SVOC の O=C の関係を理解し、SV00 と区別することができる。
	11	Lesson 4 不定詞 名詞用法の不定詞 副詞用法の不定詞 形容詞用法の不定詞	・アクティビティーを含む)	・名詞用法の不定詞が主語・補語・目的語としてはたらく分を作ることができる。 ・【目的】を表す副詞用法の不定詞の文を作ることができる。 ・形容詞用法の不定詞の文を作ることができる。
	12	Lesson 5 動名詞 動名詞の文 不定詞と動名詞/慣用表現		・不定代名詞を修飾する形容詞用法の不定詞の文を作ることができる。
		Lesson 6 受動態 受動態 (疑問文, 否定文, 助動詞) 疑問詞を用いた受動態の疑問文 by 以外を用いる受動態 SV00, SVOC の受動態 ※その他, 週に 1 回をベースに, オンライン英会話, ALT による授業を実施する。		・自分の趣味や興味のあることを伝えることができる。 ・動名詞を使った表現を使うことができる。 ・目的語に不定詞をとる動詞と動名詞をとる動詞の区別ができる。 ・相手にされたことを伝えることができる。 ・受動態の用法を理解し、受動態の文を作ることができる。 ・by 以外の前置詞を用いた受動態について理解できる。 ・SV00 と SVOC の受動態を作ることができる。
二学期	1	〈NEW TREASURE STAGE 2〉	・定期試験	・過去に行った事や過去の状態を、現在を結び付けて話せるようになる。
	2	Lesson 7 現在完了	・単語テスト	・【完了・結果】を表す現在完了の文を作ることができる。
	3	完了・結果を表す現在完了 経験を表す現在完了 継続を表す現在完了 現在完了進行形	・提出物 ・授業態度 (アクティビティーを含む)	・【経験】を表す現在完了の文を作ることができる。 ・【継続】を表す現在完了の文を作ることができる。
		Lesson 8 名詞/不定代名詞/再帰代名詞		・様々な名詞を用いることができるようになる。

		名詞の種類 不定代名詞 再帰代名詞 ※その他、週に 1 回をベースに、 オンライン英会話, ALT による授業 を実施する。		・様々な名詞の意味と用法が理解できる。 ・様々な不定代名詞の意味と用法が理解できる。 ・再帰代名詞の用法が理解できる。
--	--	--	--	---

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。